

2013年度結果	評価	2014年度目標
■新たなエコ・ファーストの約束を締結することができた	○	■新たなエコ・ファーストの約束達成のための環境実施計画を立案する
■エネルギー、廃棄物排出状況、レジ袋削減、排水水質管理、リサイクルなどの管理システムにより、目標管理を実施	○	■CO2排出抑制するための実施計画と手順を構築する
■テラスウォーク一宮、ヴェルサウォーク西尾をはじめ、新店・改装店舗はLED照明や環境機器を導入	○	■新店、改装店舗に有効な環境機器を導入し、その効果を測定する
■環境配慮型PB商品eco:lonの開発、販売を拡大 eco:lon開発数 84件、売上10億3千万円 (150%)	×	■環境配慮型PB商品eco:lonの容器包装の環境設計を図る(イズミヤ、フジとも協働する) ■環境配慮商品のバリューチェーンの環境負荷低減効果を見える化し、お客様に訴求する
■カーボンフットプリントの算出ができなかった	×	■CO2を原単位で1%削減する
■実排出係数による排出量は増加したが、調整後排出係数では14.1%削減	×	■省エネ委員会で目標策定し、目標達成を図る
■全店で省エネ委員会を開催	○	■使用エネルギーを1%削減する
■電気使用量 978,741 kWh (101.0%) +1.0% ■ガス使用量 22,591 km ³ (102.4%) +2.4% ■石油使用量 7,555千ℓ (90.8%) △9.2%	○	■物流の合理化による環境負荷低減を図る
■輸送距離・量・エネルギー使用量いずれも増加。ただし、原単位は前年比99%となった	×	■段ボール 2%削減
■前年比 0.7%増加	×	■PB商品の容器包装を見直し、バイオマスプラスチック製容器包装をもっと導入する
■バイオマスプラスチック製容器の店頭回収、再生製品を作製	○	■包装資材使用 3%削減
■レジ袋 821t (97.9%) △2.1% ■包装紙 147t (98.7%) △1.3% ■紙袋 164t (93.7%) △6.3%	○	■辞退率向上を図る
■2014年2月20日から全店の食品売り場で無料配布中止	○	■レジ袋辞退率 79%目標 (2018年までに85%達成を目指す)
■レジ袋配布店舗 26.1%、有料化店舗 87.5% ■全社換算 77.5%	○	■廃棄物排出総量 前年比 3%削減
■廃棄物総排出量 0.5%削減 ■廃棄物処理場、リサイクル現場を確認	×	■リサイクルループに周辺店舗を組み入れ、規模の拡大を図る
■営業店舗所在地1府18県でリサイクルループを構築(福島県を除く) ■リサイクルループ参加店舗 136店舗	○	■リサイクルループ参加店舗 145店舗実施 ■リサイクル率 60.0%
■リサイクル率 59.5% ■発生抑制 △25.4% (2007年度比/売上100万円当たり32.80502kg) ■再生利用等実施率 69.6%	△	■発生抑制 △26.0% (売上100万円当たり32.56000kg) ■再生利用等実施率 67.0%
■牛乳パック 581,646kg (101.1%) ■トレイ 291,509kg (100.1%) ■アルミ缶 596,767kg (107.4%) ■ペットボトル 2,146,522kg (115.0%) ■リサイクルボックス回収実績 10.0%向上	○	■リサイクルボックスの回収品目を増やす ■全店4品目を回収する ■リサイクル回収量を増やす
■透明プラスチック容器回収は未実施	×	■一部店舗で透明プラスチック容器を回収リサイクルする
■リサイクル製品(道路工事資材)作製	○	■使用品目を増やす
■店頭回収35店舗で実施	△	■店頭回収を拡大する
■環境学習テキストを発行 ■eco:lonなどの情報を掲載 ■環境掲示板の設置を標準化	○	■環境学習DVD作成 ■チラシ・POPなどで環境配慮商品を紹介し、拡販する ■新しいポスターを作成し、さらに情報提供を進める
■エコ博、環境展を開催 10店舗 ■全店実施(全国表彰される)	○	■未実施店で開催する ■クリーンアップキャンペーン全店で年2回実施
■テナントの廃棄物分別教育を実施	○	■新店・テナントの廃棄物分別教育を実施
■子ども環境学習 114回、農業体験 7回実施	○	■子ども環境学習120回、農業体験8回実施
■エコ博を7店舗で8回開催 ■メッセナゴヤ、EPOCに参加	○	■エコ博を10回開催、エコフェスタ4回実施
■講演会、リサイクル施設見学会 2回実施	○	■環境関連事業者連絡会セミナー開催
■水質検査の実施と排水管理マニュアルの徹底 ■排水水質検査全店実施、基準値以内法令遵守 ■適正管理の実施	△	■全店舗での排水水質監視を実施(清掃点検表の完全実施) ■低濃度PCBの適正管理実施